

平成30年度第2回北空知地域入退院支援研修会の開催報告

～療養が必要な住民を支援する支援者の力量アップのために～

- ・平成30年11月30日（金）18:15～19:50
- ・深川市立病院 2階会議室
- ・参加者 82名（看護職34名、介護支援専門員28名、MSW・SW・相談員7名、リハビリ職1名、保健師8名、ヘルパー1名、事務職3名）
- ・研修目的 医療関係者と地域支援関係者が連携して入退院支援を進めていく関係を築く
- ・研修目標 ①北空知地域の支援関係者が本人や家庭の思いに添った入退院支援ができるようになる
②入退院支援をしていく上で、医療関係者と地域支援関係者がタイムリーな情報交換ができるようになる



事例紹介
「在宅環境に問題のある方の在宅復帰」

「ゴミで溢れている」「お風呂がない」「ガスがない」「買物にいけない」「家族の協力もない」

このような状況の方を
食事、衛生、健康、環境の面から
どのような支援をしますか





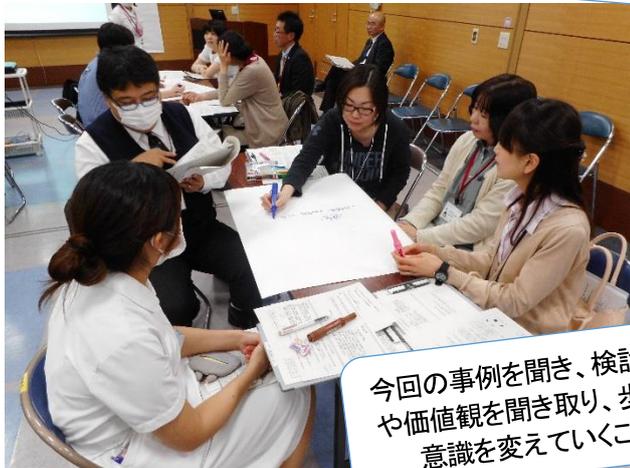
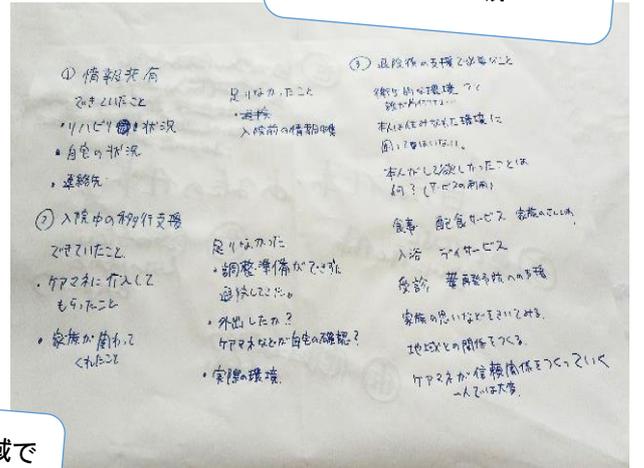
事例発表者・スタッフが巡回で補足説明



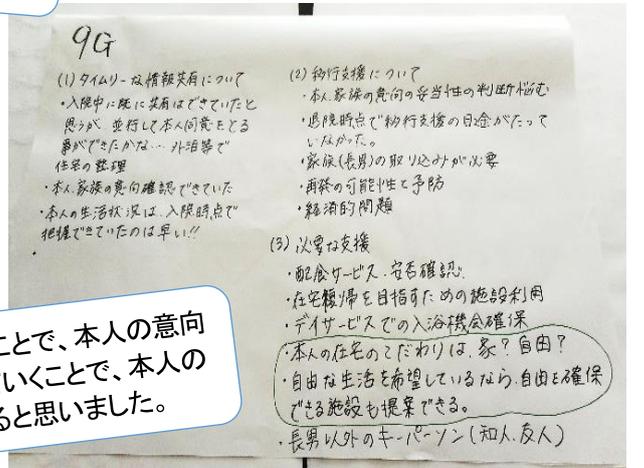
話し合った事を模造紙に自由に記載



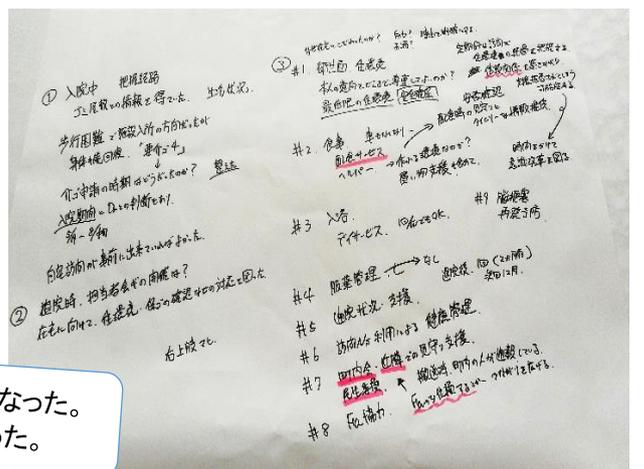
入院前の生活背景を踏まえ病院、地域で連携する大切さを学んだ。

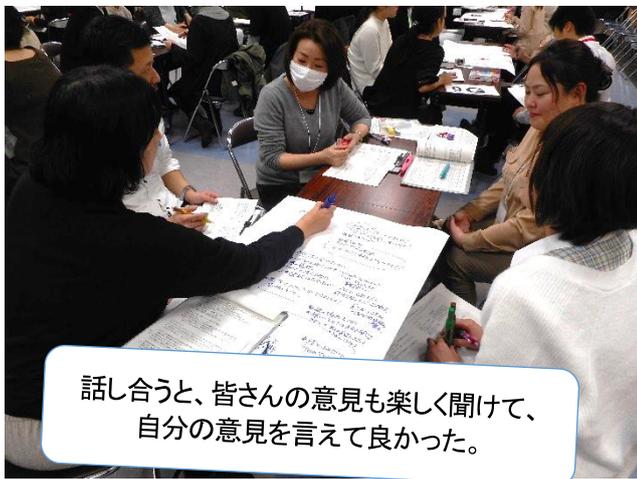


今回の事例を聞き、検討していくことで、本人の意向や価値観を聞き取り、歩み寄っていくことで、本人の意識を変えていくことができました。



多職種、様々な意見を聞いて勉強になった。困難事例検討はとても勉強になった。





話し合うと、皆さんの意見も楽しく聞けて、自分の意見を言えて良かった。



グループ発表はインタビュー形式で話し合いの1例を紹介、スタッフが板書し共有しました。



- グループ発表(板書)**
- ・8G 安全確保、本人との関係、一室を確保して食事等とれる様に(博物館)
 - ・11G 食事→配食サービスの利用(安否確認)、近所の見守りの利用
 - ・1G ゴミを片付けると寒くなる、とりあえず生きていける支援を！
 - ・4G 本は家に帰りたい、家が乱雑、転倒の危険、本人の納得するところから片付け、安全確保
 - ・13G 健康、脳梗塞再発予防梗塞再発予防
 - ・9G 退院時ゴミの環境、家に帰りたい、こだわりの理由、本人の要望に添った支援を



最後に、河野部会長から「私も少し関わっていた事例でびっくり、この研修を通じ関係者が「チーム北空知」になって支援しよう！」と閉会挨拶。

OGWの発表後、事例発表者から、退院後の心身の回復状況や住環境の改善状況等の紹介があり、また、入院中に関わった病棟看護師、リハビリ、連携室の職員からも感想発表がありました。

○参加者はその変化に驚くとともに、今後も難しい支援が続く事例ですが、本人に寄り添って粘り強く支援していく姿勢の大切さを学んだ研修となりました。

